

平成30年度 指定管理者評価シート

指定管理者

施設名	森林公園真名子木の香ランド
設置目的	緑とふれあいながら森林の大切さを認識し、自然環境についての関心を高めるとともに、研修及び交流の場としての活用を図り、もって林業の振興に資する。
指定管理者名	木の香ランド管理運営企業体
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
評価者名 (施設所管課長)	農林水産課長 重富 敏彦

評価

【評価区分： 優れている(5点)、 適正である(3点)、 改善が必要である(1点)、×抜本的な見直しが必要である(0点)】

項目	評価視点	評価区分	得点	理由(、×の場合は具体的な改善すべき事項も記載)
業務の履行に関する こと	協定等に基づき、指定事業が適切に実施されているか		5	基本協定書及び仕様書に定める業務について、適切に実施されていた。
	職員の人員配置は適正であるか	○	3	施設の維持管理及び利用者サービスにおいて、適正な人員配置をされていた。
	職員の労働条件は適正に保たれているか(賃金、労働時間等)	○	3	労働条件は適正であった。
	職員に対して必要な研修等を実施し、資質向上に努めているか		3	研修を実施し、資質向上に努めていた。また、消防訓練等も実施されていた。
	法令が遵守されているか(法定点検や検査等を含む)	○	3	法定点検等、適切に実施され、法令を遵守されていた。
	開館日、開館時間は守られているか	○	3	施設条例に基づき、適正に実施されていた。
	施設、設備、備品の管理及び保守は適切に行われているか		3	定期的に清掃及び整備が行われていた。
	利用の許可・制限が適正に実施されているか	○	3	施設条例に基づき、適正に実施されている。
	利用者からの苦情に対し、適切に対応しているか		3	苦情や要望に対し、適切に対応されていた。
	帳簿等は適切に整備・保存されているか	○	3	適切に整備・保存されていた。
	個人情報適切に取り扱われているか	○	3	企業体職員全員に個人情報の取扱いについて教育を実施され、適切に取り扱われていた。
	適正な会計・経理事務が実施されているか(利用料の適正徴収を含む)	○	3	会計・経理上のミスを防止するため、二重チェックをし、適切に実施されていた。
	経費節減の取組がみられるか		3	直営でできる修繕は直営で実施され、経費節減に取り組まれていた。
市への報告及び必要書類の提出は、遅延なく適宜行われているか		3	遅延なく適宜行われた。	
得点小計			44	

項目	評価視点	評価区分	得点	理由(、×の場合は具体的な改善すべき事項も記載)
サービスの質に関すること	利用者に対するサービス向上の取組がみられるか		3	繁忙期に管理人が常駐している日は、前日申込みの利用者も利用できるよう利便性の向上を図られた。
	利用者増加の取組がみられるか		5	独自のパンフレットを作成し、糸島市内や福岡市内等に配布され、利用者増に取り組まれていた。
	職員の接客態度(マナー、言葉づかい、服装等)は適切か	○	3	適切であった。
	自主事業の実施により、施設の魅力向上を図っているか		5	外部講師による森林学習を伴う自主事業を行われた。
	利用者の声を反映させるため、利用者アンケート等を実施しているか	○	3	利用者アンケートを実施され、イベント内容等に反映されていた。
	得点小計			19
その他				
	得点小計			
合計点			63	
得点率 (合計点/(5点×評価項目数))			0.66	

総合評価	理由
	維持管理、利用者対応に関しては、適切に管理運営を行なっている。 アンケートを集計し、改善できるものに関しては、市等と協議し早急に対応している。 また、独自にパンフレットを作成し、リピーターだけではなく、より多くの方に施設を知って頂くために、福岡市内の大学や観光施設等に配布している。

【総合評価判定の目安】

優 良 …… 0.75～1 適 正 …… 0.50～0.74
改善必要 …… 0.25～0.49 × 抜本的見直し必要 …… 0～0.24

指導及び助言

1月及び2月は集客数が減少するため、イベントを実施するなどして集客数の増加に努めること。
休暇時期以外に集客できるよう宣伝等を行うこと。

H29年度評価の「指導及び助言」内容に関する対応状況(市による改善の指摘があった場合のみ)

改善済

改善未済